

# 第66回 南区民美術展

主催 名古屋市、南区役所  
後援 名古屋市教育委員会、南区区政協力委員協議会、中日新聞社

期 間

令和7年10月18日（土）～20日（月）  
午前10時～午後3時（最終日は午後2時まで）

会 場

南区役所講堂（2階）



南区イメージキャラクター Mioo

## 展示作品を 募集しています！

○南区在住・在勤・在学・在教室  
の高校生以上

○募集部門は、日本画、洋画、  
工芸・彫刻、書、写真

※詳細は裏面の  
作品募集要項をご覧ください。 ○各部門について、表彰あり

作品募集要項や出品申込票は、  
南区ウェブサイト  
(<http://www.city.nagoya.jp/minami/>)  
でもダウンロードできます。



（問合せ先）

南区役所地域力推進課（南区役所3階）  
〒457-8508 南区前浜通3-10

☎電話 （052）823-9327

# 作品募集要項

- ◇応募資格 南区在住・在勤・在学・在教室の高校生以上で、作品を指定日時に搬入・搬出できる方
- ◇出品申込 **事前の申込が必要です。※令和5年度までと異なりますので、ご注意ください。**  
出品申込書に必要事項をご記入のうえ、8月18日(月)～9月22日(月)までに直接南区役所地域力推進課(南区役所3階2番窓口)にお持ちいただくか、郵送・FAX・電子メールでお申込ください。
- ◇作品規格 壁面展示の作品は必ず掛ひもをつけてください。  
各部門1人1点、未発表(審査を伴う展覧会に出品されていない)作品に限ります。

| 部門    | 作品規格                                                                                 | 審査員(50音順)      |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 日本画   | 50号以内で額装したもの                                                                         | 市野 鷹生<br>松井 和弘 |
| 洋画    | 50号以内で額装したもの                                                                         | 伊藤 寿雄          |
| 工芸・彫刻 | そのまま展示できるもの                                                                          | 服部 政子<br>森 克徳  |
| 書     | 2m×1m以内(縦横自由)<br>本表装または枠装したもの<br>釈文を添付                                               | 横井 宏軒          |
| 写真    | A4(210mm×297mm)以上、半切り(356mm×432mm)以内<br>パネル装または額装し、そのまま展示できるもの<br>デジタルカメラ可<br>編集加工不可 | 岡崎 リョウタ        |

- ◇搬入 令和7年10月10日(金)・10月11日(土)午前10時～正午、午後1時～午後5時  
南区役所講堂(2階)で受付
- ◇表彰 各部門／市長賞・区長賞・市教育委員会賞・区政協力委員協議会議長賞・中日賞・佳作
- ◇表彰式 令和7年10月20日(月)午後2時～ 南区役所講堂(2階)にて
- ◇搬出 令和7年10月20日(月)午後3時～午後5時、21日(火)午前10時～正午
- ◇その他 ① 作品の保管については十分注意しますが、不可抗力の事故による破損および、搬出後の作品については責任を負いかねます。
- ② 会場の都合により、応募作品全部を展示することができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ③ 展示方法・位置等についてのご要望はお受けできません。
- ④ 各部門の市長賞および区長賞受賞作品は「名古屋市民美術展」に出品していただく予定です。
- ⑤ 作品の搬入、搬出または展示の期間に、「暴風警報」「暴風特別警報」「大雨特別警報」等が発令されている場合、美術展の中止または開催日時を変更することがあります。その際は、市公式ウェブサイト南区トップページにてご案内します。
- ◇賛助作品 南区民美術展において過去5年(令和元年度～令和6年度中。令和3年度は中止のため除く。)に同一部門で2回市長賞を受賞された方の作品は、その部門では賛助作品となり、審査の対象外となります。